

米に関するマンスリーレポート

新潟県版 令和元年7月

《今月の特集1》

令和元年度産地交付金の追加配分について

実需者から安定供給が求められている飼料用米、加工用米、米粉用米等について、国は、更なる推進を図るため、この度、国は、水田活用の直接支払交付金の産地交付金の追加配分を行うこととし、これにより本県には約1.1億円が6月末に配分されました。

この配分の取扱いについては、当初決定したとおり、県枠の所要額に充当した上で、残額を当年の非主食用米の取組面積シェアで地域協議会に配分することとし、加工用米等の多収性品種の取組や複数年契約の取組を推進するとともに、非主食用米の作付が多い地域に対し、優先的に配分する仕組みとしているものです。

産地交付金を有効に活用しながら、需要のある加工用米等の非主食用米への転換について、いま一度検討してください。

＜追加配分のイメージ＞

〔追加配分〕

1.1 億円

① まず県枠の所要額に充当することで、県枠の取組に対し、単価調整せずに満額を交付

② 残額を今年度の非主食用米の取組面積シェアに応じて配分（11月頃）

〔当初配分〕

配分先・取組		配分額
県枠	I 加工用米等の多収性品種の取組 (12,000円/10a)	1.5億円
	II 加工用米等の多収性品種での複数年契約の取組 (5,000円/10a)	0.5億円
地域への配分		18.2億円

《今月の特集2》

8月7日(水)に「業務用途米販路拡大セミナー」が開催されます。

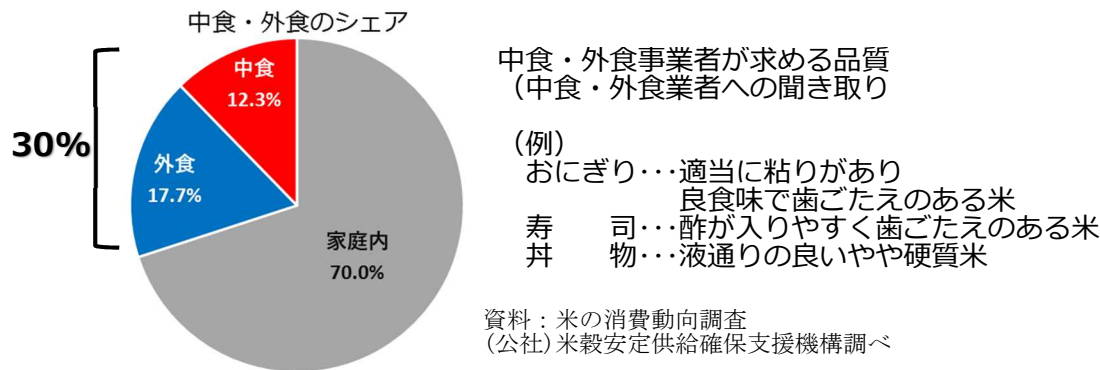
主食用米の需要は年々減少しているものの、その中で飲食店やコンビニ等、中食・外食分野で業務用途に使用される米のシェアは年々拡大しています。

本セミナーでは、実需者の立場から、市場のニーズを捉えた米の供給についてご講演いただくほか、県が開催している「新潟米産地プレゼンテーション及び商談会」において県内の農業者と東京の実需者（米卸業者）とが結びつき、取引につながった事例を紹介するほか、業務用途に活用できる米の品種について専門家に解説いただきます。

業務用途に活用できる米の生産に興味がある方、市場のニーズを知りたい方、業務用途に活用できる多収穫米の品種について知りたい方は、ぜひご参加ください。

（参加費無料／定員 100 名）

主食用米の消費内訳等（平成 30 年度）



【日時】 令和元年8月7日(水) 13:30～16:30

【場所】 新潟県自治会館別館9階コンベンションホールゆきつばき
新潟市中央区新光町4番地1

【対象】 業務用途米の生産に興味のある生産者及び生産者団体、行政関係者等

【内容】 1 業務用途米の現状と需要に応じた生産について（新潟県）
2 「生産者と中食・外食業者をつなげるお米マイスターの役割（仮題）
小池理雄 様（お米マイスター五ツ星・有限会社 小池精米店 3代目店主）
3 「新潟米産地プレゼンテーション及び商談会 事例紹介
濱野永靖 様（株式会社ハマノ 代表取締役）
4 業務用途に向く多収品種の紹介（中央農業研究センター北陸研究拠点）
5 情報提供

【申込方法】 下記ホームページのセミナー募集チラシに添付の申込書により、FAX
または電子メールにて8月2日（金）までにお申し込みください。

<http://www.pref.niigata.lg.jp/syokuhin/1356921571033.html>

【申込先・問い合わせ先】 新潟県農林水産部食品・流通課食品産業係

電話 025-280-5306

FAX 025-280-5548

電子メール ngt060040@pref.niigata.lg.jp



新潟米の販売状況

概況

新潟米の販売状況は、昨年の作柄の影響による品薄感から、概ね順調に推移している。

販売比率

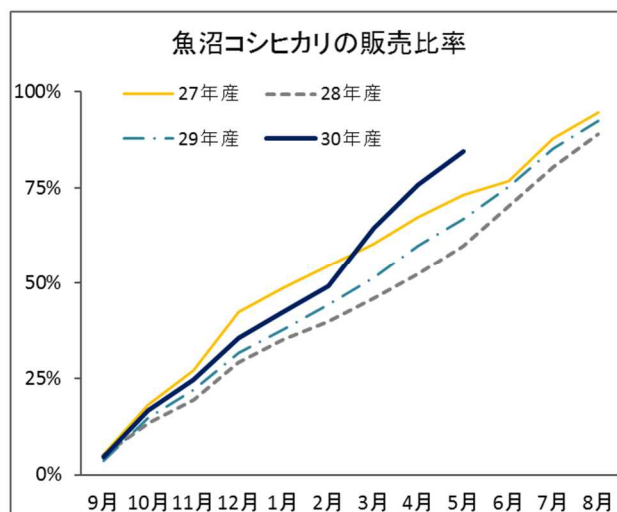
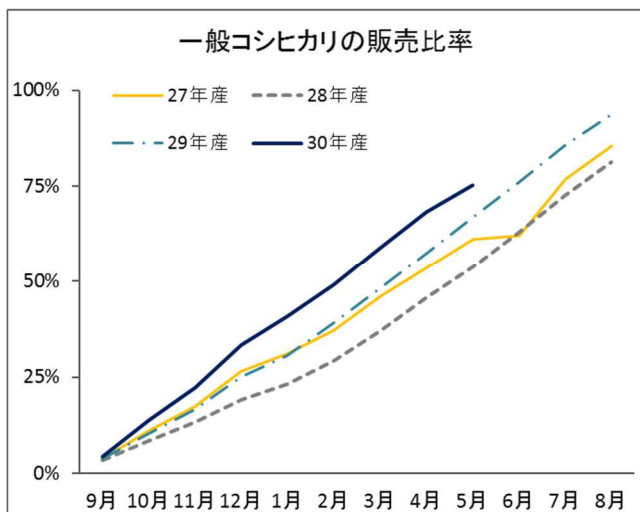
作柄不良等により集荷量が減少したことから、概ね販売は順調に進み、全銘柄の販売比率（出荷進度）は8か月連続で前年及び前々年を上回っている。

(1) 一般コシヒカリ

5月の一般コシヒカリの販売比率は、前年比8ポイント増の75%となり、前年及び前々年を上回って推移している。

(2) 魚沼コシヒカリ

5月の魚沼コシヒカリの販売比率は、前年比17ポイント増の84%となり、前年及び前々年を上回って推移している。



販売比率の推移

産地・年産		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般コシヒカリ	28年産	3%	8%	13%	19%	23%	29%	37%	46%	54%	63%	72%	81%
	29年産	4%	10%	17%	25%	31%	39%	48%	57%	67%	76%	86%	94%
	30年産	4%	14%	22%	33%	41%	49%	59%	68%	75%			
魚沼コシヒカリ	28年産	5%	13%	20%	29%	35%	40%	46%	52%	60%	70%	80%	89%
	29年産	4%	15%	22%	32%	38%	44%	51%	60%	67%	75%	85%	93%
	30年産	5%	17%	25%	36%	42%	49%	64%	76%	84%			
岩船コシヒカリ	28年産	4%	12%	18%	24%	30%	37%	46%	55%	63%	70%	80%	93%
	29年産	2%	13%	21%	28%	35%	43%	53%	62%	71%	78%	86%	95%
	30年産	1%	14%	23%	31%	36%	45%	54%	66%	74%			
佐渡コシヒカリ	28年産	5%	15%	21%	28%	36%	45%	54%	60%	68%	75%	82%	89%
	29年産	3%	14%	21%	29%	38%	44%	52%	60%	69%	76%	86%	96%
	30年産	2%	18%	27%	36%	46%	53%	60%	68%	75%			

(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注)平成28・29年産は、各月末時点の販売数量を翌年8月末の集荷量で除して算出。平成30年産は、各月末時点の販売数量を直近月の集荷量で除して算出しているため、今後、集荷量の増加に伴い比率が変動する可能性がある



在庫状況

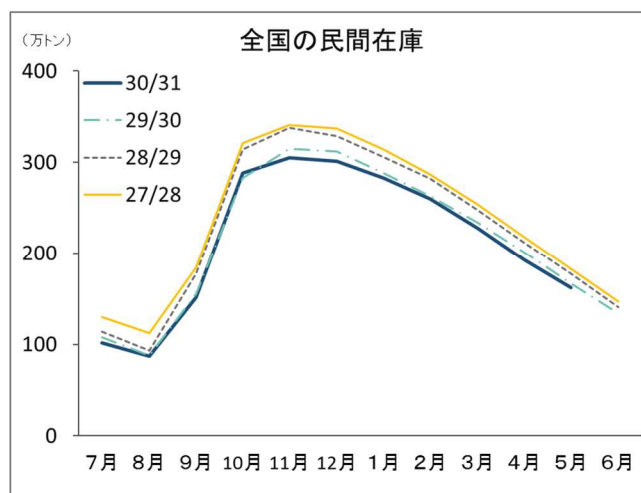
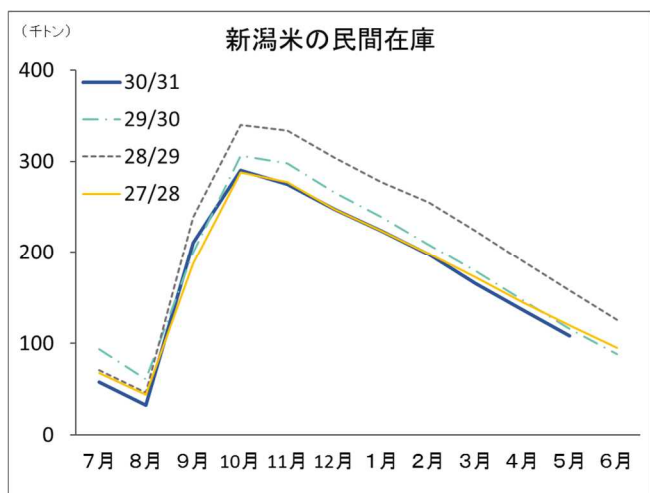
5月の新潟米の民間在庫は、昨年の作柄の影響で前年及び前々年を下回っている。

(1)新潟米

5月の新潟米の民間在庫(うるち米)は、前年比6.1%減の108千トンとなり、8カ月連続前年を下回った。

(2)全国

5月の全国の民間在庫(うるち米)は、前年比3.0%減の162万トンとなり、7カ月連続前年を下回った。



民間在庫の推移(うるち米)

(単位:新潟米は玄米千トン、全国は玄米万トン)

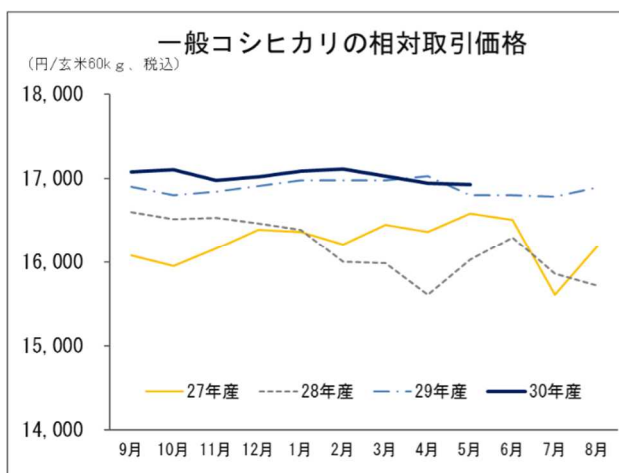
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
新潟米	28/29	70	47	239	340	333	304	277	255	224	190	158	126
	28年産米	0	1	208	309	305	279	256	237	210	179	149	119
	1年古米(27年産)	67	43	28	29	27	23	20	17	13	10	8	6
	29/30	94	61	200	307	298	266	239	209	179	147	116	88
	29年産米	0	0	160	269	265	239	218	192	164	136	107	82
	1年古米(28年産)	89	59	39	38	32	26	21	16	15	11	9	6
米	30/31	58	32	210	290	275	248	224	198	165	136	108	
	30年産米	0	1	194	276	264	241	219	194	163	134	107	
	1年古米(29年産)	53	29	15	13	9	6	4	3	2	1	1	
全国	28/29	114	93	177	314	338	329	306	282	248	212	177	141
	28年産米	1	14	122	267	299	299	284	264	233	201	167	135
	1年古米(27年産)	104	72	48	38	30	22	16	12	9	7	5	4
	29/30	108	88	155	283	315	312	288	263	234	201	167	134
	29年産米	1	15	104	241	282	288	270	249	223	192	160	129
	1年古米(28年産)	103	71	48	38	29	21	14	11	8	6	5	4
米	30/31	102	87	151	288	305	301	283	260	228	193	162	
	30年産米	1	18	103	248	273	277	263	244	216	184	155	
	1年古米(29年産)	97	66	45	37	28	20	16	12	9	7	5	

資料：農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

相対取引価格

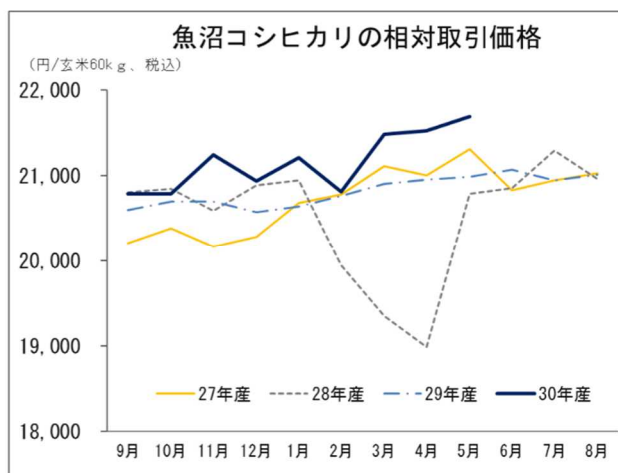
(1)一般コシヒカリ

5月の一般コシヒカリの相対取引価格は、前年比0.8%上昇し、16,929円(玄米60kg、税込)となっている。



(2)魚沼コシヒカリ

5月の魚沼コシヒカリの相対取引価格は、前年比3.4%上昇し、21,695円(玄米60kg、税込)となっている。



相対取引価格の推移

(単位:円)

		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般 コシヒカリ	28年産	16,599	16,517	16,529	16,466	16,390	16,001	15,989	15,607	16,029	16,295	15,856	15,716
	29年産	16,906	16,798	16,846	16,907	16,982	16,980	16,974	17,030	16,801	16,801	16,784	16,890
	30年産	17,081	17,106	16,975	17,021	17,090	17,109	17,027	16,944	16,929			
魚沼 コシヒカリ	28年産	20,803	20,848	20,589	20,893	20,945	19,944	19,354	18,993	20,790	20,858	21,292	20,960
	29年産	20,600	20,703	20,700	20,578	20,640	20,767	20,902	20,956	20,987	21,072	20,945	21,010
	30年産	20,791	20,794	21,241	20,939	21,210	20,819	21,482	21,528	21,695			
岩船 コシヒカリ	28年産	17,038	17,037	17,004	16,970	16,955	16,741	16,856	15,465	17,037	16,937	-	-
	29年産	17,289	17,429	17,479	17,339	17,452	17,352	17,455	-	-	-	-	-
	30年産	17,442	17,474	17,478	17,454	17,493	17,423	17,445	-	-			
佐渡 コシヒカリ	28年産	17,012	17,046	17,038	16,997	17,042	17,034	16,944	16,463	16,992	16,957	-	17,062
	29年産	17,311	17,325	17,415	17,340	17,362	17,486	17,484	17,665	-	-	-	17,362
	30年産	17,487	17,830	17,476	17,493	17,420	17,349	17,458	-	17,510			

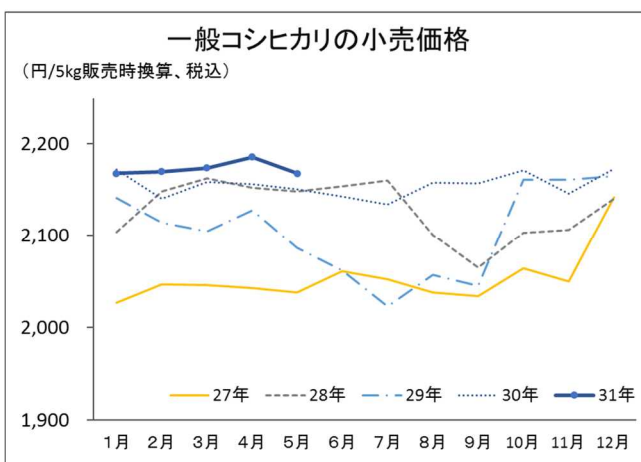
資料:農林水産省「米に関するマンスリーレポート」



小売価格
(POSデータ)

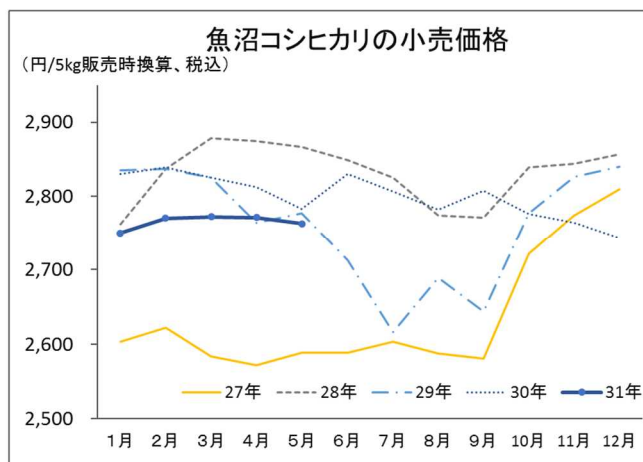
(1) 一般コシヒカリ

5月の一般コシヒカリの小売価格は、前年比で0.8%上昇し、2,168円(5kg袋販売時換算、税込)となり、4ヵ月連続前年を上回った。



(2) 魚沼コシヒカリ

5月の魚沼コシヒカリの小売価格は、前年比で0.7%下落し、2,763円(5kg袋販売時換算、税込)となり、8ヵ月連続で前年を下回っている。



小売価格(POSデータ)の推移

(単位:円)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
一般コシヒカリ	29年	2,141	2,114	2,105	2,128	2,086	2,062	2,023	2,057	2,045	2,161	2,161	2,165
	30年	2,172	2,140	2,159	2,156	2,151	2,143	2,134	2,158	2,157	2,171	2,146	2,173
	31年	2,168	2,170	2,174	2,186	2,168							
魚沼コシヒカリ	29年	2,835	2,837	2,825	2,764	2,777	2,713	2,616	2,689	2,644	2,777	2,826	2,840
	30年	2,830	2,839	2,825	2,812	2,783	2,830	2,806	2,782	2,807	2,776	2,764	2,743
	31年	2,750	2,770	2,772	2,771	2,763							
岩船コシヒカリ	29年	2,114	2,024	2,031	2,123	2,210	2,230	2,188	2,163	2,181	2,158	2,200	2,224
	30年	2,270	2,292	2,275	2,221	2,264	2,279	2,275	2,254	2,229	2,231	2,254	2,224
	31年	2,244	2,298	2,235	2,276	2,254							
佐渡コシヒカリ	29年	2,121	2,158	2,149	1,983	2,151	2,015	2,141	2,127	2,169	2,174	2,259	2,266
	30年	2,282	2,110	2,243	2,282	2,280	2,260	2,246	2,245	2,231	2,209	2,215	2,246
	31年	2,262	2,289	2,309	2,305	2,308							

資料: 農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

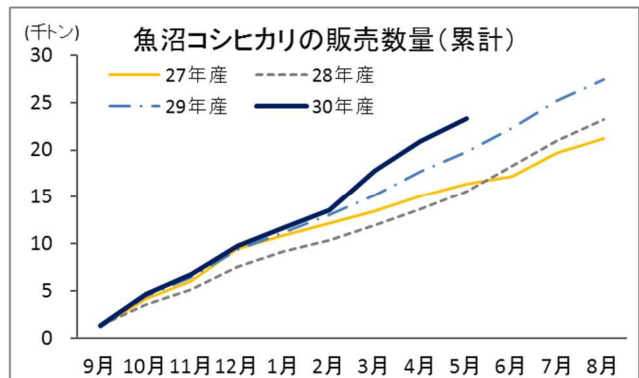
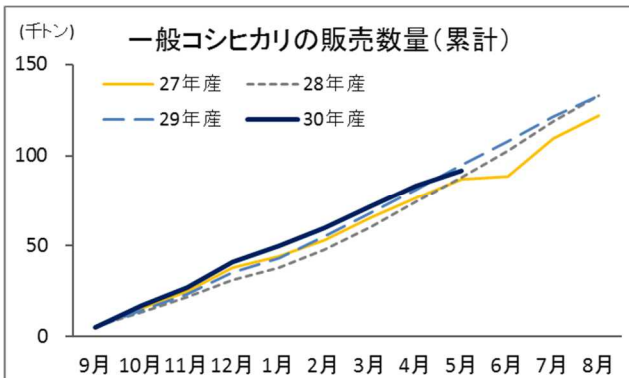
発行元: 新潟県農林水産部農産園芸課

TEL: 025-280-5295

URL: <https://www.niigatamai.info>

資料編

販売状況



販売数量(累計)の推移

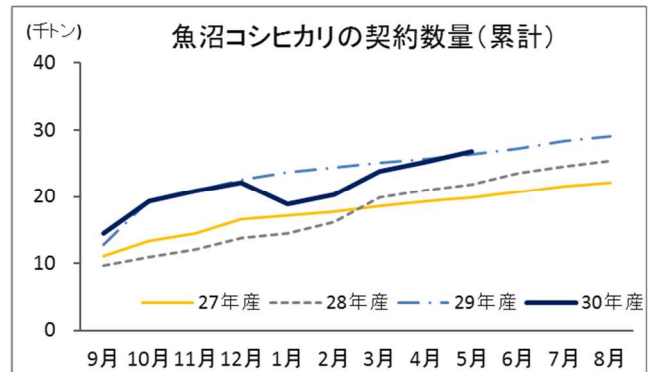
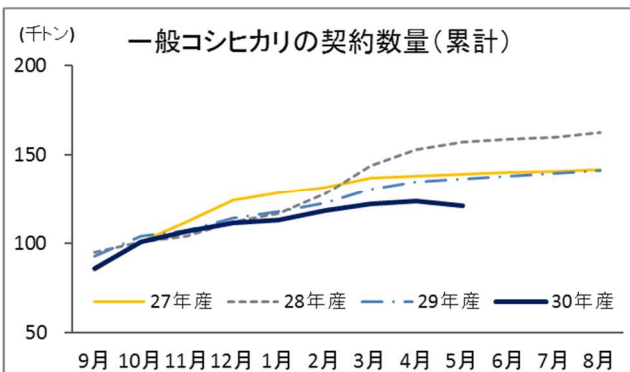
(玄米千トン)

産地・年産		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般 コシヒカリ	28年産	5.6	13.7	21.6	31.2	38.1	47.7	60.4	74.7	87.9	102.8	118.6	133.0
	29年産	5.1	14.6	23.5	35.2	43.3	55.3	68.1	81.2	94.6	107.6	121.4	132.6
	30年産	5.3	16.9	27.2	40.9	50.0	59.9	71.7	83.3	91.8			
魚沼 コシヒカリ	28年産	1.3	3.5	5.1	7.6	9.2	10.4	12.0	13.7	15.6	18.3	21.0	23.2
	29年産	1.1	4.4	6.5	9.4	11.2	13.1	15.2	17.7	19.8	22.3	25.2	27.4
	30年産	1.3	4.6	6.8	9.8	11.7	13.6	17.8	20.9	23.3			
岩船 コシヒカリ	28年産	0.5	1.6	2.4	3.3	4.1	5.0	6.2	7.4	8.5	9.5	10.8	12.5
	29年産	0.2	1.4	2.4	3.1	3.9	4.8	5.9	6.9	7.9	8.7	9.6	10.6
	30年産	0.1	1.5	2.4	3.2	3.7	4.7	5.6	6.9	9			
佐渡 コシヒカリ	28年産	0.8	2.3	3.3	4.5	5.7	7.1	8.5	9.5	10.8	11.9	12.9	14.0
	29年産	0.4	1.9	2.9	4.0	5.1	6.0	7.1	8.1	9.4	10.3	11.7	13.0
	30年産	0.2	2.2	3.2	4.3	5.5	6.3	7.2	8.1	7.7			

(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注)年度毎に調査対象者が異なる可能性がある

契約状況



契約数量(累計)の推移

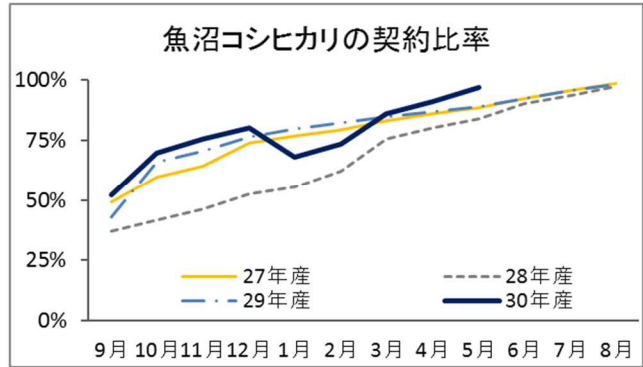
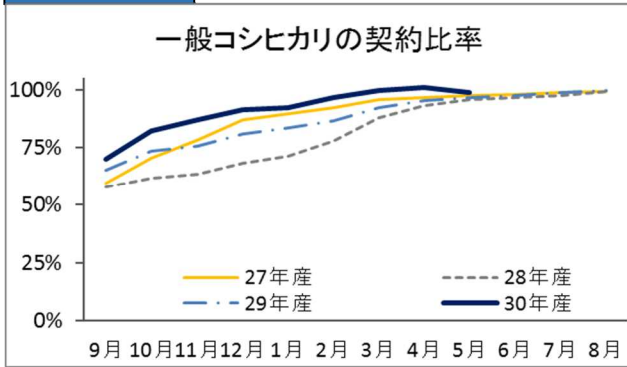
(玄米千トン)

産地・年産		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般 コシヒカリ	28年産	94.8	100.7	103.8	112.0	116.6	127.6	143.8	152.7	157.0	158.4	159.8	162.2
	29年産	92.5	103.8	107.3	114.2	117.9	122.6	130.7	134.8	136.4	138.0	139.7	141.1
	30年産	85.7	100.5	106.4	111.5	112.9	118.2	122.0	123.3	120.9			
魚沼 コシヒカリ	28年産	9.7	10.9	12.1	13.7	14.5	16.2	19.8	21.0	21.9	23.6	24.5	25.4
	29年産	12.7	19.5	20.9	22.6	23.7	24.4	25.1	25.7	26.4	27.3	28.4	29.1
	30年産	14.4	19.3	20.9	22.1	18.8	20.3	23.8	25.2	26.8			
岩船 コシヒカリ	28年産	10.1	9.6	10.0	10.6	11.3	11.3	12.6	13.4	13.4	13.4	13.4	13.5
	29年産	10.1	10.1	10.1	10.3	10.4	10.7	11.2	11.2	11.2	11.2	11.2	11.2
	30年産	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.2	10.4	10.4			
佐渡 コシヒカリ	28年産	12.8	12.4	12.7	13.8	14.0	14.1	15.1	15.3	15.4	15.5	15.6	15.7
	29年産	11.9	12.0	12.1	12.2	12.4	12.9	13.2	13.5	13.5	13.5	13.5	13.6
	30年産	11.2	11.4	11.4	11.7	11.7	11.8	12.1	11.4	11.7			

(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注)年度毎に調査対象者が異なる可能性がある

契約比率



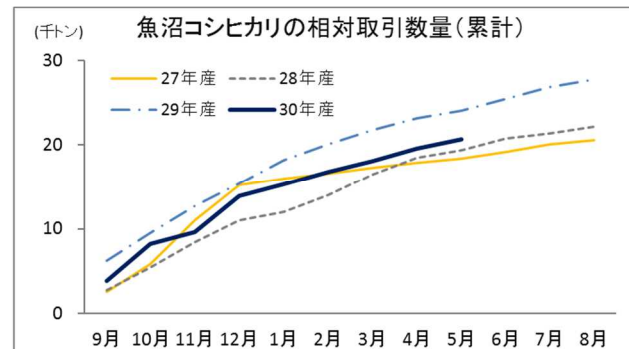
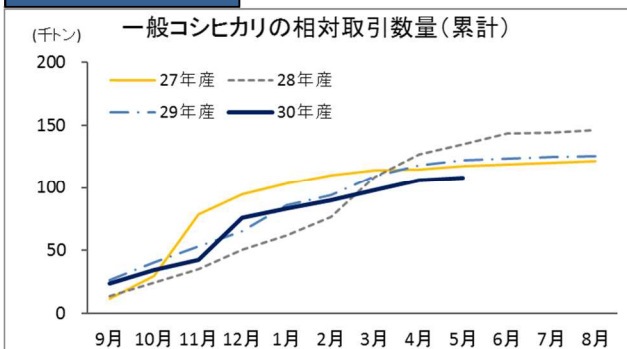
契約比率の推移

		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般 コシヒカリ	28年産	58%	62%	63%	68%	71%	78%	88%	93%	96%	97%	98%	99%
	29年産	65%	73%	76%	81%	83%	87%	92%	95%	96%	98%	99%	100%
	30年産	70%	82%	87%	91%	92%	97%	100%	101%	99%			
魚沼 コシヒカリ	28年産	37%	42%	46%	52%	56%	62%	76%	80%	84%	90%	94%	97%
	29年産	43%	66%	71%	76%	80%	82%	85%	87%	89%	92%	96%	98%
	30年産	52%	70%	76%	80%	68%	74%	86%	91%	97%			
岩船 コシヒカリ	28年産	75%	71%	74%	79%	84%	84%	93%	99%	99%	99%	99%	100%
	29年産	90%	91%	90%	92%	93%	96%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	30年産	107%	107%	107%	107%	107%	107%	108%	100%	100%	100%		
佐渡 コシヒカリ	28年産	81%	78%	80%	87%	89%	89%	96%	97%	97%	98%	99%	100%
	29年産	88%	88%	89%	90%	91%	95%	97%	99%	99%	99%	99%	100%
	30年産	93%	95%	95%	98%	98%	98%	101%	95%	98%			

(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注)平成28・29年産は、各月末時点の販売数量を翌年8月末の集荷量で除して算出。平成30年産は、各月末時点の販売数量を直近月の集荷量で除して算出しているため、今後、集荷量の増加に伴い比率が変動する可能性がある

相対取引数量



相対取引数量(累計)の推移

(玄米トン)

		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般 コシヒカリ	28年産	13,994	24,600	35,617	50,378	61,929	76,894	108,630	126,727	134,613	143,258	144,322	146,046
	29年産	26,315	40,574	53,260	65,185	85,828	94,165	109,598	118,046	122,441	123,694	124,707	125,309
	30年産	24,056	34,805	42,333	76,176	83,475	90,377	98,290	106,259	107,846			
魚沼 コシヒカリ	28年産	2,774	5,394	8,421	10,982	12,048	13,970	16,458	18,482	19,359	20,758	21,411	22,151
	29年産	6,213	9,516	12,708	15,378	18,212	20,077	21,785	23,177	24,067	25,454	26,820	27,785
	30年産	3,859	8,262	9,672	13,887	15,353	16,786	18,050	19,543	20,650			
岩船 コシヒカリ	28年産	2,891	3,944	4,827	7,091	8,205	8,387	10,823	11,990	12,225	13,306	13,306	13,306
	29年産	5,843	6,192	6,777	8,030	8,604	9,935	11,225	11,225	11,225	11,225	11,225	11,225
	30年産	4,244	5,391	5,932	8,509	8,762	9,678	10,833	10,833	10,833			
佐渡 コシヒカリ	28年産	2,168	3,569	5,302	8,099	9,944	10,517	13,603	14,592	15,186	16,261	16,261	16,421
	29年産	3,789	5,401	6,211	6,948	10,956	11,973	12,945	13,236	13,236	13,236	13,236	13,370
	30年産	3,682	4,782	5,809	8,111	8,749	9,391	10,549	10,549	10,549			

(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注1)年度毎に調査対象者が異なる可能性がある

(注2)相対取引契約がなかった又は相対取引量が100トン未満であり、価格の公表が行われなかった月については、前月と同じ数量を記載した。